

●門真市水道事業ビジョンについて（第1章 門真市水道事業ビジョンの概要）

- 門真市水道事業ビジョンとは、長期的に目指す姿（理想像）やその理想像を達成するための目標を明示するとともに、今後10年間で実施していく具体的な実現方策をまとめた計画です。
- 「門真市第2次水道事業ビジョン」の計画期間は、**令和9（2027）年度から令和18（2036）年度までの10年間**です。

【基本理念・理想像】



●門真市水道事業と水道料金について（第2章 門真市水道事業の概要）

- 門真市は自己水源を持たず、全水量を大阪広域水道企業団（企業団）から受水し、西は泉町浄水場、東は上馬伏配水場の各施設を通じ配水しています。
- 取水から送水は企業団、配水・給水は門真市が担い、水道普及率は100%です。

【水道料金の仕組み】

- 門真市水道事業の運営に必要な費用は、税金ではなく、水道料金で賄うという「**独立採算制**」の考え方に基づき、必要な費用を賄える水準に水道料金は設定されます。
- 将来にわたって事業を安定的に続けられるように定期的に水道料金水準を検証することが不可欠とされ、3年から5年ごとに見直すこととなっています。
- 門真市の水道料金は、基本料金（月10m³まで）と超過料金から成り立つ**二部料金制**を採用しています。

【門真市の1月あたり水道料金表（税抜）】

水量区分	基本料金単価	超過料金単価
0-10m ³		0円/m ³
11-20m ³		158円/m ³
21-30m ³		208円/m ³
31-40m ³		239円/m ³
41-50m ³		270円/m ³
51-100m ³	896円	296円/m ³
101-200m ³		341円/m ³
201-500m ³		379円/m ³
501-1,000m ³		384円/m ³
1,001-5,000m ³		384円/m ³
5,001m ³ 以上		384円/m ³

●門真市水道事業が抱える課題について

（第3章 水道事業の現状評価と課題、第4章 将来の事業環境）

- 人口減少等の要因により給水人口と水需要は減少し、給水収益（水道料金から得られる収益）は減少していく見込みです。
- 水道管や施設の多くは昭和40年代に完成したもので老朽化が進み、地震や災害への備えも必要となっているため、更新・耐震化といった設備投資が増大する見込みです。



●門真市第2次水道事業ビジョンに掲載する事業について（第5章 目標設定と推進する事業）

「持続」「安全」「強靱」の分野ごとに、6つの基本施策と、具体的な14の事業を設定しています。

持 続		指標（目標）
基本施策1 事業運営体制の強化		
(事業1-1) 人材育成施策の実施 (事業1-2) 効率的な民間活用	<ul style="list-style-type: none"> 水道技術に関する資格取得率 (2.66 件/人) 法定資格の取得率 (100%) 任意資格の取得率 (63.6%) 委託範囲及び契約方法を検証した契約の数 (3 件) 	
基本施策2 事業運営に必要な財源確保		
(事業2-1) 水道料金体系の最適化に関する検討 (事業2-2) 確実な水道料金の徴収	<ul style="list-style-type: none"> 料金回収率 (100%) 収納率 (99.93%) 	
基本施策3 水道サービスの充実化		
(事業3-1) 情報提供、水道サービスの充実化 (事業3-2) お客さまとの連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌による情報の提供量 (0.02 部/件) インターネットによる情報の提供量 (4 回) 協働の実施回数 (1 回/年) 	

安 全		指標（目標）
基本施策4 安全な水の供給		
(事業4-1) 水安全計画の推進 (事業4-2) 水質管理体制の適正化 (事業4-3) 貯水槽水道に係る適正管理の指導	<ul style="list-style-type: none"> 水安全計画の検証回数 (1 回/年) 給水モニターによる適正な検査実施率 (100%) (単年度の) 貯水槽水道指導率 (78.6%) 	

強 靱		指標（目標）
基本施策5 水道施設の適正化の推進		
(事業5-1) 重要管路耐震化事業の実施 (事業5-2) 浄水場及び配水場施設更新事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 全体の管路の耐震化率 (38.2%) 重要管路の耐震化率 (〇〇%) 管路の更新率 (1.00%/年) 配水池の耐震化率 (●●%) ポンプ所の耐震化率 (100%) 	
基本施策6 危機管理体制の構築		
(事業6-1) 危機管理対策マニュアルの見直し・拡充 (事業6-2) 応援協定の充実化 (事業6-3) 必要な資機材の確保	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策訓練実施回数 (2 回/年) 危機管理対策マニュアルの見直し回数 (1 回/年) 協定の見直し回数 (1 回/年) 給水車保有台数 (2 台) 	

●門真市第2次水道事業ビジョンの経営目標と経営見通しについて（第6章 設備投資・財政計画）

【経営目標の設定】

門真市第2次水道事業ビジョンでは、健全な水道事業運営を行うために、計画期間における経営指標、経営目標を定めています（経常収支比率、料金回収率、現金預金残高、企業債残高対給水収益比率）。

【経営見通しについて（設備投資・財政計画）、料金改定】

- 経営に不可欠な主要施設の維持更新の見通しを立てるため、施設の耐用年数等を踏まえて、令和9（2027）年度から令和48（2066）年度までの40年間の計画としました。
- 給水収益の算定のもととなる料金水準について、**現行の料金水準**であるパターン1と、門真市第2次水道事業ビジョンの計画期間中に**2回、約30%の改定（引き上げ）を実施した**とするパターン2を設定し、検証しました。
- パターン1とパターン2による令和18（2036）年度の経営指標及び経営目標の推定値は、表1のとおりです。
- 現行水道料金水準のままであると、今後の事業運営に支障が生じる可能性があります。今後も安定した事業運営を行うためには、パターン2の設定による給水収益の確保が必要となるため、水道料金の改定が必須となります。**この設定における水道料金の表は、表2のとおりとなります。

項目	目標値	パターン1 令和18年度見込値	パターン2 令和18年度見込値
①経常収支比率	100%以上	× (72.6%)	○ (112.4%)
②料金回収率	100%以上	× (67.3%)	○ (109.5%)
③現金預金残高	18億円以上	× (▲60 億円)	○ (18 億円)
④企業債残高対給水収益比率	350%以下	× (824.5%)	× (506.4%)

表1 パターンごとの経営指標と経営目標の推定値

○：目標達成
×：目標未達成

【表2 パターン2の設定による1月あたり水道料金表（税抜）】

水量区分	改定後 基本料金単価	改定後 超過料金単価	超過料金単価 改定率
0-10m ³		0円/m ³	-
11-20m ³		200円/m ³ (+42円)	+26.6%
21-30m ³		270円/m ³ (+62円)	+29.8%
31-40m ³		310円/m ³ (+71円)	+29.7%
41-50m ³		350円/m ³ (+80円)	+29.6%
51-100m ³	1,160円 (+264円) (+29.5%)	380円/m ³ (+84円)	+28.4%
101-200m ³		440円/m ³ (+99円)	+29.0%
201-500m ³		490円/m ³ (+111円)	+29.3%
501-1,000m ³		500円/m ³ (+116円)	+30.2%
1,001-5,000m ³		500円/m ³ (+116円)	+30.2%
5,001m ³ 以上		500円/m ³ (+116円)	+30.2%

門真市第2次水道事業ビジョン（案）の詳細につきましては、以下のQRコードからご覧ください。

